



スペイン語のユニークな慣用表現を学びましょう！  
今回取り上げる職業は「Periodista（記者）」です。  
どんな表現があるのか、イラストと一緒に覚えましょう。

**Hacerse eco de la realidad**



**Hacer prensa amarilla**



VS

**Hacerse eco de la realidad**

現実をありのままに伝える

ecoはこだま。hacerse eco de ...は～を広めるの意味。報道の対象となる出来事や事物について故意に誇張したり矮小化したりせず、ありのままを正確に描写すること。

Sus artículos periodísticos son muy fiables porque siempre se hace eco de la realidad.

常にありのままの事実を伝えているから、彼が書いた新聞記事はとても信頼できる。

**Hacer prensa amarilla**

扇情的な報道をする

prensa amarillaは「大衆紙」のこと。発行部数を増やすために、わざと大げさな書き方をして読者を煽ること。

Las ventas de esta revista se han disparado desde que hace prensa amarilla.

扇情的な報道をするようになってから、この雑誌の売上は急激に伸びた。

**No dar cuartel**



**Escribir al dictado**



VS

**No dar cuartel**

息つく暇を与えない→質問攻めにする

cuartelはここでは休戦、敵に与える容赦の意味。No dar cuartelで「容赦しない」。立て続けに質問したり盲点を鋭く突いたりして、徹底的に追及すること。

Para las noticias de la seccion de política, el director busca un periodista que no dé cuartel.

政治部の報道のため、部長は相手を徹底的に追及できる記者を探している。

**Escribir al dictado**

口述筆記をする→言われたことをそのまま書く

発言者の主義主張をそのまま書くだけで、内容の考察や批評を放棄すること。

Es un periodista ideal para el Gobierno porque escribe al dictado de los ministros.

大臣たちの主張を無批判にそのまま書いただけだから、彼は政府にとっては理想的な記者だ。

**Estar siempre al loro**



**No saber de la misa la mitad**



VS

**Estar siempre al loro**

常に事情に通じている、日々の報道の確認を怠らない

loroは「オウム」。噂を繰り返すオウムの声を聞くことからこの熟語ができたと言われている。世情に詳しい情報通、事情通の人間のこと。

Quando el jefe de redacción se jubiló, me dijo que un periodista ha de estar siempre al loro.

編集長は退職する時「記者たる者、常に情報通でなければならない」と私に言った。

**No saber de la misa la mitad**

全く知らない、内容を全く理解できない

ミサのやり方を知らない司祭（ラテン語が読めない、作法を知らない）を揶揄する言葉として生まれたとされる。無知ゆえに議題が全く理解できない様。

Tras leer este artículo, mi conclusión es que, quien lo ha escrito, no sabe de la misa la mitad.

この記事を読んだ後の僕の結論としては、これを書いた記者は全く無知だったことだ。

**No dejarse nada en el tintero**



**Morderse la lengua**



VS

**No dejarse nada en el tintero**

インク瓶に何も残さない→最初から最後まで漏れなく書く

漏れや省略もなく、事情を洗いざらい書き上げること。

Desde su fundación, el lema de nuestro periódico sigue siendo el mismo: "No dejarse nada en el tintero".

創業当初から、私たちの新聞は変わらぬスローガンを掲げ続けている。「略すことなく、全て書け」

**Morderse la lengua**

舌を噛む→言うべきことを言わずに黙秘する

世間に公表するとスキャンダルになる事情などを、知っているのに報道せず隠してしまうこと。

Prefirió morderse la lengua y destruyó los documentos que implicaban al primer ministro en un caso de corrupción.

彼は口を閉ざす方を選び、総理大臣が汚職に関与していたことを示す書類を処分してしまっ